

人生を変えた選択

みなさんこんにちは！3年4組の河合茂恵海です😊今回はみなさんに海外留学のあれこれについてお話ししていこうと思います！昨年度の生徒会通信にて一度コラムとして掲載していただいたのですが、有難いことに校長先生からぜひホームページにもとお声がけいただいたので、今回はもう少し深く、でも楽しんでいただけるようゆる〜く語っていきたいと思います。

暇な時にちょっとずつでも読んでいただけるとハッピーです。

ところでみなさん、海外に興味はありますか？？？

家族旅行で行ったことあるって人も、まだ行ったことない、飛行機にも乗ったことない人も、海外のバイブス最高っすって人も、外国人と結婚したいって人も、何かしら興味があるんじゃないかなと思います。この記事を読んで「海外いきてえ〜！たっのしそ〜！」と思う人が出てきてくれれば嬉しい限りです。



それではまず最初に、お前誰やねん！と思っている方へ向けて

私の海外歴を紹介させていただきます!!

✳️海外渡航歴

渡航年 | 目的 | 国

2011年 | 人生初海外 | インド・ネパール・中国

2017年 | 兄のサッカー観戦 | 韓国

2018年 | 2回目の家族旅行 | カンボジア・中国(2)

2020年 | 6日間で4カ国 | ラオス・マレーシア・ベトナム・韓国(2)

2022年 | 初の単独留学 | フィリピン

2023年 | コンサート観戦 | ベトナム(2)・マレーシア(2)

2023年 | トビタテ留学 | ニュージーランド・カナダ

2023年 | 姉と2人旅行 | 韓国(3)

2024年 | 大学見学 | マレーシア(3)・インドネシア

2024年 | 大谷翔平プロジェクト留学 | アメリカ

2024年 | with従姉妹家族 | 韓国(4)

←now!!





こうしてみると…我ながらめっちゃアクティブ笑



これまで計13カ国に行きました。インドに行った時なんてピチピチの5歳。何にも分からず飛行機に乗って、気がいたらガンジス川の船の上でした。今なら躊躇するようなインドのローカル料理にがつついてました。最初はただ連れて行かれるだけで、慣れない異国の地、宿から出たくないといやいや行ってた時期もありましたが、段々と海外の刺激がクセになり、好きになっていきました。実際に経験するってほんとに大切だと心から感じます。



次に、私の留學歷をご紹介します！



＊留學歷



①フィリピン・セブ島でスパルタ留学



高校1年生での初の単独海外・留学をセブ島で経験しました。フィリピン語学留学は韓国人と日本人が多く、マンツーマンの授業を低価格、ハイクオリティで受けれることから初めての留学にはもってこいです。私は1日に7コマ(マンツーマンクラスを4コマ、グループレッスンを3コマ)を3週間のコースに入りました。初めは大人ばかりのクラスに馴染めず、ネイティブの英語が呪文にしか聞こえず、会話についていけず、自分の英語のできなさとホームシックのダブルパンチで毎日涙で布団がびしょ濡れでした*° けれど、次第に慣れていき、友達も少しずつできて、留学の素敵な部分を経験することができました。3週間でもしっかり成長を感じました。綺麗な英語を話すには文法が大事で、中学、高校英語は無駄ではなかったなと感じます。

フィリピン留学のオススメポイント！



←ボランティア
の証明書



フィリピンはとにかく先生たちが優しくて全てを受け入れてくれるスタイルだったので、毎日の授業をとても楽しく受けることができます。週末にはビーチに行ってジンベイザメと泳げるイベントや、孤児院や小学校でのボランティア活動などにも参加できます！ちょっと気になってきたそのあなた！ぜひ調べてみてください！思いついた時に行動に移すのって大事やで☺

これが私のこれからを大きく変えたであろう最初の選択です。

②ニュージーランド・カナダでトビタテ留学!!



みなさんは、『トビタテ！留学JAPAN』を知ってますか？



文部科学省主催の留学促進キャンペーン、正式名称は「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」です。名前の通り、日本の代表として、海外での留学、そして探究活動を行います。ここ数年で知名度が上がり、「あのトビタテ！」と反応してくれる人が増えてきました。

私は高校2年生で高校生8期生として、**ニュージーランド**と**カナダ**へ約4か月間留学しました。トビタテ留学といえば留学期間の長さに応じて給付される返済不要の奨学金が魅力なのですが。。。最大の特徴は留学先で探究活動と語学留学を両方行うところにあり、より濃密で有意義な留学期間を過ごすことができます。そして、留学先、留学期間、探究活動の内容、全て自由に設計でき、自分の興味や関心を最大限に活かして、知りたい気持ちを最優先にあなたがやってみたい留学、あなたオリジナルの留学を実現できるんです！



私は「滋賀の観光業における勝ち筋を探る」というテーマで留学しました。日本が誇るマーケター、森岡毅さんが言っていた「まずは自分の口で語れるまでコンテンツをやり込む」という言葉に共感し、探究活動の一つとしてNZでバンジージャンプやスカイダイビングをこの身体で体験しました。私の同期のトビタテ生は、バリ島でサステナブルなローカルビジネスの仕組みを学ぶためにインターンシップをしたり、韓国でダンス留学したり、アフリカで医療ボランティアをしたり、**探究内容は十人十色**です。とにかく綿密に練った計画と知りたいことへの愛があれば審査は通ります。計画書の執筆はなかなか時間がかかる大物ですので、興味がある方は今からでも大まかな留学プランをイメージしておくといいと思います。大変やけどコレほんまに時間かけて取り組む価値アリです!! 計画書を書くっていう段階で自分がほんまに好きなこと、やりたいことってなんやろうと改めて考える機会になるし、準備や選考を通じて、リサーチ力、計画力、文章力、プレゼン力、エトセトラ。。。当時は必死になって取り組んでいましたが、計画から二次審査の面接・プレゼンまで全て終えて振り返ってみると、唯一無二の力がたくさん身についたなと噛み締めております。留学に行く前と行った後に全国のトビタテ生が集う研修会があるのですが、これがまた刺激しかない貴重な場でして…トビタテに応募していなかったらこんなに日本中の高校生と関わって刺激をもらえる機会はなかったやろうなと思うし、留学先で支えあったトビタテ生の友達にも出逢えてなかったです。そしてなにより、**学ぶことの面白さ**を身をもって体験することが出来ました。トビタテに関わったことで、観光業やマーケティングに興味があることに気づくことができ、海外の大学で本格的に学んでみようと思えることができました。



③大谷翔平×ECC 共同プロジェクトSHOW YOUR DREAM でアメリカ留学

2024年春、大谷翔平が100名様に留学をプレゼントするという情報を父がを見つけ、これを逃す手はないと2人で頷きました。しかし、**100人**しか募集されていない狭き門…未踏のアメリカ…あの大谷翔平…茨の道は覚悟で、挑戦することに意味があると、応募に取り掛かりました。応募に必要なだったのは未来への夢について、日本語での作文（400文字）と英語でのビデオメッセージ(3分間)。滋賀の魅力を発信し、海外との架け橋となって滋賀県を外国人観光客でいっぱいになりたい！ということを軸に作文を書きました。また、ビデオメッセージではキング牧師の名スピーチ、「I have a dream」をオマージュし、観光業の発展は世界にどんな影響をもたらすのかを語りました。

ギリギリに原稿が出来上がったもので、応募締め切りの早朝5時に三脚を担いで近所の湖岸へチャリを飛ばし、2時間ほどひたすらカメラにでっかい声で喋ってました。とてつもなく高い倍率をくぐり抜けるにはとにかく人と違うことをしないとダメだと考えた結果でした笑

後に聞いた話ですが、ECCの引率の方に「あんな鳥のさえずりが入ってたのもえみくらいだよ笑」と言われ、作戦成功!!と内心ガッツポーズ。応募は約2万件、倍率は200倍！どんな子選ばれたのだろうと、実際に会え

るのをとても楽しみにしていました。

そして迎えた羽田空港での出発の日。一緒に渡米する皆はとても前向きで志高くて、話して行くうちに、「え、小5でTOEIC800点!?!」「幼稚園からインターナショナルスクール!?!」「え、あなたもトビタテ生!?!」なんて意外な繋がりもありました。みんなと話す度に新しい発見ばかりでこんな素敵な考え、生き方があるんだなあともたまたまや刺激だらけの留学となりました。

到着後は、カリフォルニア・アーバインにてホームステイをしながら、語学学校に通って、大学見学したり、ビーチで遊んだり、ドジャースタジアムに行ったり、BBQパーティーしたりと毎日盛りだくさんの1週間でした。またみんなで集まろうねと約束もし、1週間という短い期間ではありましたが、最高のコミュニティの一員となれたことがほんとに幸せです。この経験は必ず将来生きてくると思うし、素敵な機会をプレゼントしてくれた大谷サンへBIG THANK YOU!!<3

さあここまで私の留學歷をご紹介しました。

ダラダラと書いていますが、まだ読んでくれる人は果たしているのでしょうか。

けれどここからが本題!!

留学の魅力についてお話ししていきます。

*留学の魅力

私が経験してきた留学って、キラキラした、毎日遊びまくってパーティー行って、みたいな理想の留學生活★ではなくて、どちらかというと壁にぶち当たっては悩んで解決して、みたいな過酷なものでした。ニュージーランドでは、入って2日目にローカル男子生徒にアジア人差別されたり、ドイツ人留学生のグループに授業のことについて聞いたからあからさまに無視されたり、73歳・20時就寝・4時起床のホストマザーと二人暮らしだから家では1人の時間が多くて英語を話せなかったり、、カナダでは、コテコテのイギリス英語話者の先生のクラスにぶち込まれ、クラスメイトは自分以外南米人!! スペイン語で会話が進むカオスな授業を経験したり(すぐクラス変えた)、テスト中なのに答え教えてと言われNOと断り続けたら「日本の教育は終わってる」みたいなこと言われたり、未成年の酒飲みデンジャラスパーティーに誘われ続けたり(もちろん断り続けましたよ(^_^))、、とにかく大変な4ヶ月でもありました。ここまで色々な問題を経験した人には出会ったことがないです笑

そんな私だからこそ伝えられるものがあると思うし、説得力は人一倍あるんじゃないかと思います。

留学の魅力その① 行動力爆伸び!! 未来は変え放題

セブ留学の時もトビタテ留学の時もそうでしたが、自分から何かしらアクションを起こさないと一瞬にも変わんねえなということを学びました。当たり前のように聞こえるけど、それは今まで日本で友達とか家族とか、知り合いに囲まれて生きてた時には抱かなかった感覚です。ひとたび日本を飛び出せば、場の空気を読む文化なんて存在しないし、自分の気持ちをバンバン表現しないと埋もれていく世界です。この先生合わへんなー、このクラス居心地悪いなーと思ったらその瞬間に受付に走って変更を申し込む、これが時間的に限られた留学をよりよくするための鉄則です。様々な国の生徒がいるクラスで、やっぱり日本人は黙ってしまいがち。先生と日常会話をしたり、わからなかったらすぐ質問したり、先生が質問したら大きな声で答えたり、間違いを恐れなかったり、日本では見ない光景が当たり前になっていて、積極性の大切さをクラスメイトから学ぶことも多かったです。仲良くなりたい子がいたら迷わず話しかける、だって、今話しかけなかったら何も始まらないし、もう関わることはないかもしれないから。今思えば留学先でできた友達はほとんど自分から声をかけた子です。笑 その中に今も連絡取ってる子もいれば、また会おうねと再会の約束をした子もいます。



何が言いたいかって、未来って自分次第で変え放題やんってこと。今がしんどい、明るい未来が欲しい、そう思った時は、まずは動いてみましょう。勇気を出して踏み出したその一歩が、その後の未来を大きくいい方向に変えてくれます(^)迷ったら一回やってみて欲しいです←これガチ。



留学の魅力その② 将来の幅がめちゃくちゃ広がる

高校生、早ければ中学生のうちに留学することで特に効果を感じられると思います。いうまでもなく、早ければ早いほど先の選択に生きてきます。私の場合、高一の時に思い切って留学したことで、英語をもっと学んで世界中の人と話したい、自分は海外での生活が好きなんだと気づくことができました。その気づきがトビタテ応募の際の糧となり、留学計画作成時にも本気で取り組むことができました。トビタテをきっかけに観光業やマーケティングに興味をもち、ニュージーランド・カナダでの滞在を通して世界の広さをより実感しました。「高校生のうちに留学していたらもう一つの人生があったと思う。」ナイアガラの滝のツアーで出会った日本人大学生のこの言葉は今でも頭に残っています。トビタテ留学から帰ってきた時にはマレーシアの大学に行くことを心に決めていました。トビタテ留学が海外大進学という選択をするにあたり、私の背中を押してくれたと言えます。(高一の時から考えてはいたけど、正直自信がなくチキってた)。海外経験は必ず人生に大きな影響をもたらします。



留学の魅力その③ 価値観がマジで信じられんくらい変わる

海外に行くたびに、ああ日本って狭い国だなと感じます。でもね、世界って広い！！これに尽きるのです。遅刻しても責めない、タクシーの運転手は友達と通話してる、メイクやピアスは個性、授業中にマック食べる、授業中に先生がりんごまるまるくれたこともありました。これらがヤバイ、したらダメなことという概念がそもそも存在しない世界。世界にはこんな生き方をしてる人がいるんや、今までの自分は周りからの評価ばかり気にして自分を最優先にしてへんかったな(それが悪いとは言わない)と気づきました。それを**知りながら生きるのと知らないまま生きるのとでは、物事や人の考えの捉え方が断然に違います**。断言します。ニュージーランドではローカルの高校に通っていたのですが、先生と生徒の仲がとても良いことにも驚きました。友達のように挨拶をし、I love you が飛び交う関係、素敵すぎじゃね??? 帰国したら日本の高校にまた通うことになるけど、海外の高校生を経験してみて、世界のどこかにはこういう高校生活もあるんやと知れてよかったなと思いました。留学から帰ってきて以降は自分の好きなことをして後悔のない人生を歩もうと決意し、迷ったときはとりあえずやるようにしています。私が日本の大学ではなくマレーシアの大学に進もうと決めた理由の一つは、ありのままの自分で生きることができると感じたからですし、さらに、マレー系、中華系、インド系などが暮らす多文化共生社会なので日本人留学生としても非常に生活しやすそうと感じたから。ちなみ

に、留学じゃなくて旅行で何日か行くだけでも価値観は簡単にガラリと変わるもんです。私の友達は、旅行でタイに行って日本との違いに感動し、翌年フィリピンに留学しに行っていましたよ(^o^) 東南アジアの半分以上の国へ行ったことがあります、ほんまに面白くておすすめです。しんどいなー、リフレッシュしたいいなー、安くて海外行きたいなーって方はぜひ東南アジアへ！笑 Plus,トビタテ留学から帰ってきたあと、「性格変わったな！話し方に自信を感じる！」と言われ、目に見えてもわかんねや、うれし〜、行ってよかった〜と実感。留学に行って世界中のいろんな人と関わってから殻を破って新しい自分になることができました。



ここまで私が感じた留学の魅力を語りましたが、どうでしたか？

この熱が伝わっていることを祈ります！！！！！！！！！！



留学で身につく力って、英語力だけじゃないです。なんなら英語力はおまけっていうか、なんやろ、暮らしていくうちに自然と身についていくもの？？うちらが知らん間に日本語マスターしてるみたいに、ある程度の文法を学んで英語に触れていると、これってなんていうんやろ？これってどういう意味？と、疑問を感じて調べたり人に聞いたりすることで毎日新しい知識が身についていくんです。(だいぶ吸収のはやい赤ちゃんみたいなイメージ)

先日、マレーシアの大学出願に必要なIELTSという世界共通の英語試験を受け、9点満点中、6.5点をとることができました。CEFRはB2レベル、英検で言うと準1級〜1級くらいだそうです。留学によってリスニング力とスピーキング力が大幅に伸び、スピーキングでは予想もしていなかった7.5をとることができました！！英検などの英語試験を避けてきた人生だったので、初めて自分の英語力を数値で表すものをゲットできて、これまでの経験は無駄ではなかったと実感しました！！言語力以外にも、行動力、判断力、問題解決能力、柔軟性、異文化理解と適応力、計画力、コミュ力、自己表現力、将来への影響、柔軟性、自立心、新しい人脈、グローバルな視野、などなど？こんなにもたくさんのものを得ることができました。

留学する理由なんてちっちゃくてええんです。

英語話せるようになりたい、海外に住んでみたい、グローバルな友達が欲しい、今の自分を変えたい、コミュ力あげたい、推しが住んでる、もうなんでもいいんです。

その小さなきっかけが、必ず大きな成長を生みます。ほんまに、I'm serious.泣



とにかく留学へ行け！と言っているわけではありません。



ただ、世界って広くて面白いんだよと伝えたいのです。世界を見るというちょっとした選択が、あなたの人生をガラリと変えるかもしれません。



現状想像もつかない、未来の新しい自分

見つけに行ってみませんか？

